

◆『Intelligence』購読会員の皆さまへ:ニュース・レターNo.49(2017年10月号)◆

朝晩はだいぶ冷え込み、気が付けば今年もあと二カ月ちょっとになりました。皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今回のニュース・レターでは、各編集委員による、「私が読んで面白かったブログ」を紹介させていただきます。さらには NPO 法人インテリジェンス研究所(理事長:山本武利早大名誉教授)から、見学会のご案内もございます。ご覧下さい。

ご愛読会員の皆さまには、ニュース・レターとともに「Intelligence」会員専用ウェブサイト <http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html>、会員向けブログ <http://intelligencem20th.blog.fc2.com>(パスワード:20cmedia)とあわせてご覧いただければ幸いです。皆さまからのご意見、ご要望もお待ちしております。

【ブログ用エッセイ募集】会員向けブログのエッセイはお楽しみいただいていますでしょうか。購読会員のみなさまに是非お読み頂ければと思います。そして、このブログ用エッセイの執筆を希望される方を、購読会員の中から募集しております。研究に関する小話やヒント、資料紹介などの会員向けブログへの掲載を希望される方は、お原稿をお待ちしております。原稿の長さは千字程度、写真を二葉そえてご提出下さい。詳細につきましては、事務局までご連絡下さい。

【特集コラム:私が読んで面白かったブログ】

(吉田則昭委員)私のお勧めのブログ記事は、吉本秀子「プロパガンダが生み出す「被害者→敵→生け贄のサイクル」(第14回)と、山本武利「シベリア基地再訪」(第4回)である。前者は、1941年の真珠湾攻撃における「リメンバー・パール・ハーバー」の戦争イメージ、80年代アメリカでの「ジャパン・バッシング」などの「敵」イメージが、9.11以後、「卑怯な日本人」から「ムスリム」に代わってきたこととして、自身の体験もふまえて興味深く読めた。

後者においては、筆者は大衆文化研究としてシベリア抑留をみているが、2015年に再訪したシベリア墓参を通じて、父親のバイカル湖西北の泰セット第7収容所での生活を思い、その地のロシア人をパーソナリティにも想像をめぐらせている。これもソビエト文化交流史の負の側面の一つとして拝読した。

(川崎賢子委員)梅村卓氏「沙飛と日本人」(第18回)

学際的かつ国際的な共同研究会として20世紀メディア研究会が実績を重ねてきた背景には、一次資料の掘り起こしと共有(所有ではありません)というブツを間に挟んだ検証や議論があったと考えています。

その意味で、インテリジェンス購読会員ブログは、様々な領域の研究者の皆さんがどのように足で稼ぎ、研究の鉱脈を掘り当てていらっしゃるのか、研究生活の日常の厚みをまのあたりにすることのできる、貴重なそして興味深い読み物です。

梅村氏のブログは日本人捕虜を撮り続けた八路軍のカメラマン沙飛のエピソードで、その評価の変容(将来にわたる変容も予見させる)について考えさせられました。

(鈴木貴宇委員)「知性」が持つ厳しさと凛とした強さを教えてくれた一本として、赤見友子先生がお寄せ下さった「大衆政治における、メディア、大衆、専門家:戸坂潤の示唆するもの」(第15回)を挙げます。米トランプ政権や英国のEU離脱といった、ポピュリズムが顕在化する風潮にあって、戸坂の言説が持つ意義を誠実に問う文章でした。阪本博志先生による「『朝日新聞』『ひととき』欄から生まれた女中サークル「希交会」の機関誌『あさつゆ』の復刻」(第17回)も印象に残っています。ガリ版刷の紙面に自分たちの言葉を刻むことに熱意を傾けた戦後の女中さんたちと、SNSというツールを常用している現在の私たちを

比較したとき、果たして「言葉」の強度は今も変わらずに信じられているだろうか、と考えずにはいられません。

【NPO 法人インテリジェンス研究所から見学会のご案内】

11月25日(土)に、インテリジェンス研究所主催の見学会を行います。日本で初めてインテリジェンス教育を行った陸軍中野学校の前身機関が置かれたのは、実は早稲田大学の目と鼻の先の戸山(新宿区)でした。戸山は、江戸時代には尾張徳川家の下屋敷が置かれていましたが、明治時代になり陸軍用地となりました。そこに1938年秘密機関「山」(ヤマ)が設置されたのです。ここから陸軍中野学校だけでなく登戸研究所、それに731部隊(防疫研究所)が萌芽したのです。戸山はまさに日本のインテリジェンス発祥の地です。

当日は、この地や、その近辺を巡ります。そして、見学会の前(もしくは後)には、早稲田大学で、中野学校の歴史についての解説を行います。ガイドと解説は当研究所事務局長の正田浩由(鎌倉女子大学非常勤講師)が行います。

見学会の詳細が決まり次第、当研究所ホームページ(<http://www.npointelligence.com/>)でお知らせいたします。メールのご案内をご希望の方は npointelligence@gmail.com までご一報ください。今後の研究会のご案内もさせていただきます。よろしくお願いいたします。

[10月24日付 文責:正田浩由]